

森林づくりに関する税検討委員会報告書（骨子案）の 県議会（会派）への説明

説明要請のあった会派に対して、勉強会において森林づくりに関する税の検討状況と森林づくりに関する税検討委員会報告書（骨子案）を説明し、意見をいただきました。

税導入について、明確に導入反対を表明しました議員が1名でした。

新政みえ勉強会 平成24年6月25日 21議員参加

自民みらい勉強会（みんなの党同席） 平成24年6月27日 21議員参加

（主な意見）

- ・ 災害に強い森林づくりが強調されているが、水と空気を作っているのが森林であることや、循環型社会構築の観点からも森林の機能が重要であることも前面に出して欲しい。
- ・ 県民に理解をしてもらった上で、納税してもらうことに意味がある。周知と理解をどのように図っていくのが重要だ。
- ・ 予算の配分について、ソフト部分への配分割合が3割となっているが、納税者の割合が多い都市部に多く配分するためにはソフト部分への配分を高める必要があるのではないか。
- ・ 社会保障と税の一体改革が進む中で、景気状況も含めて、税導入についての厳しい県民の目線があることも検討委員会に伝えて欲しい。
- ・ 漁業にとって流木の問題は深刻である。そのような事にも触れれば、漁業者の理解が得られる。
- ・ 林業従事者を増やしていく必要がある。雇用対策も含めて訴えれば、県民の理解が得られる。

（反対意見）

- ・ 年間10億円で森林が良くなるとは思えない。予算の組み方で実現できるレベルであり、新税の必要性が感じられない。